

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2024年3月30日

事業所名：ポピ一伊川谷

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育室は余裕のあるスペースとなっており、ボールを使った遊びなどのびのびとできる環境である。また、必要に応じてカーテン等で仕切りを設け、空間を分けることでクールダウンできる場所や落ち着いて過ごす場所、勉強や作業スペースという使い方もできている。	はい22 どちらともいえない2	利用定員に応じたスペースの確保は出来ている状況を保護者の方にご理解して頂けるように努める。
	2 職員の適切な配置	人員基準を遵守し、適正な職員配置となるようシフト計画を立てている。なお、利用者と職員の男女比に差異があるため、完全なる同性介助ができない場合があり、その点は予め利用者及び保護者に説明をさせていただき、了承をいただいている状況である。	はい22 どちらともいえない1 わからない1	人員配置については今後もわかりやすいよう保護者への説明を行い、ご理解いただけるよう努力していくとともに、疑問や不安に感じるがあれば随時お話を伺い、解決していけるよう努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内に関してはバリアフリー化されている。また、トイレに関しては着脱可能な手すり(肘掛け)を用意しており、必要に応じて取り付けている。なお、当事業所が建物の2階にあり、階段の昇降があるためこれについてはバリアフリーとは言えない。情報伝達など環境の整備については視覚支援を取り入れ、写真や絵を利用し利用者によりわかりやすいよう配慮するとともに、個人個人に合わせ過ぎしやすい環境を提供できるよう工夫している。	はい21 どちらともいえない1 わからない2	建物の2階という部分については今後も改善することが難しいため、階段の昇降には十分注意しケガ等ないように気を付ける。なお、情報伝達や利用者により配慮した構造、環境については利用者それぞれの特性を把握し、情報を共有するとともに、保護者や学校との連携を密にしながらできる限り快適に安心して過ごせるよう今後も努力したいと考えている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃時には次亜塩素酸ナトリウムの溶剤を適正に希釈した溶液で室内および椅子や机、おもちゃなどを拭き上げる他、エアコン、加湿空気清浄機を活用し室温や湿度を適正に保つよう心掛けている。 防汚・消臭・抗菌などしてくれる光触媒のコーティングを行った。	はい24	
業務	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のプログラムは職員持ち回りで日案を立て実施している。また、行事の時には日案を立てている。月例の会議でそれらのプログラムについての反省を意見交換も含めて行うとともに、日頃より意見交換を密にし、問題が出た時、またはそれが予見される時には臨機応変に対応できるようにしている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
改善	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価は現在行っていない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	今年は新型コロナウイルスの影響で例年より少ないが外部の研修にはオンラインで参加した。過去の研修報告書や資料を保管しており、職員誰もが必要時に見返すことが出来るようにしている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画作成に保護者との面談を行うほか、職員間での意見交換を経て支援計画を作成している。	はい24	今後も定期的に面談を行い必要に応じて追加で面談を行い今、必要な支援が実施出来るように計画書を作成することに努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別活動については保護者からの聞き取りなどから今必要としているスキルにつながるものを提供できるよう計画に盛り込んでいる。また、集団活動についても子供たちの特性に応じたプログラムやわかりやすい説明を心掛け、いろいろなことを経験して成長の糧となるよう計画を策定している。		計画作成にあたっては綿密に聞き取りや分析を行うとともに、保護者にもご理解いただけるような計画内容の説明、それに対応したプログラムや支援の実施状況の報告をさらに丁寧に行っていきたいと考えている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画策定前の保護者との面談や半年ごとに行うモニタリングなどからその都度必要な支援を明確化し、それを支援計画に反映できるよう努めている。		支援計画を立てる上での聞き取り、分析をさらに細かく丁寧に行い、子どもたち一人ひとりに対応した計画を作成し保護者にもご理解いただけるよう努めていきたいと考えている。
	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	策定した計画は職員間で共有し、皆が特性や注意すべき点を把握したうえで、適切な支援を行うことができるよう努めている。また、ケース会議だけでなく、日頃から意見交換を行い、必要であれば微細な変更を加えながら計画を遂行している。	はい23 わからない1	今後も計画書の見直しと支援方法の修正を行い適切な支援を実施していくように努める。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムは会議等で話し合うなど、日頃の意見交換から軸になる活動を中心に各週ごとに担当者が立案している。会議ではプログラムの反省も行き、次期作成の時にそれを反映できるよう皆で話し合っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 (続き)	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校終了後であるが、学校休業日や長期休暇には午前中から療育を開始し、普段時間的に取り組むことが難しい調理や所外活動、また個別の療育にもじっくりと取り組むことができるようプログラムを工夫している。また、できる限り各家庭からの要望を伺い、臨機応変に対応し支援できるよう努めている。	はい19 どちらともいえない1	本人の体調などを配慮したうえで支援を提供できるように努める。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事や季節感を大切にしたプログラムを立案するとともに、一年を見据えた発展的な取り組みを盛り込み、マンネリ化しないよう実施方法を確認する。また、固定化することで子供たちが安心して取り組むことができるものについては敢えて固定化し、続けて取り組むことで自信につながるよう工夫している。		日頃のプログラムの内容を実施項目だけではなく、目的やそのプログラムの意図をご理解いただけるよう送迎時のやりとりや連絡ノートで伝達していけるよう努力していきたいと考えている。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼及び昼礼を設け、支援内容の確認や役割の確認等を行っている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎業務等もあり、全員での終礼の時間を設けることは難しいができる限りその日の出来事を顧みて反省点やよかった点をあげたり、日報に記録し、その日に出勤していない職員が後日見返してもわかるようにし情報を共有している。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	療育予定表や日報により記録を残していくとともに、個別療育に関しては別に記録を取る。都度見直すことで振り返りや改善を行うとともに、共有すべきことは朝礼や昼礼で伝えあう。また、そこで明らかになる問題点は会議等で話し合っている。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一回のモニタリングを実施し、必要に応じて保護者との面談を行っている。また、モニタリングの時期以外にも個別支援計画の見直し、追加が必要であると考えられる時には保護者からのヒヤリングや面談を実施し、計画の修正を行う。		
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	管理者及び児童発達支援管理者が相談支援事業所の担当者会議に出席している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケア児及び重症心身障害児の利用はない。		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケア児及び重症心身障害児の利用はない。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所は運営していないため保育所や小学校への移行支援は行っていないが、小学校から中学校へ進学する場合などに必要に応じて移行支援を行っている。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	学校卒業者がまだいないため、行っていない。		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	発達者支援センターなどからの情報は到着、FAX、電子メールで受け取っている。また研修についても同様に情報提供があるので日程を調整しできる限り受講できるよう配慮しているがコロナの影響で研修の受講が難しい。		
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域の放課後児童クラブや児童館の交流については安全面の確保が難しく実施に至っていない。	はい5 どちらともいえない2 いいえ6 わからない1	地域の子どもの交流は、人的要因やスペースの確保など安全面において解決できていない課題が残る。それらが解決できるようであれば保護者の皆さまからの意見も伺いながら取り組んでいきたいと考えている。なお、近隣の公園などで遊ぶ時には地域の子もたちと一緒にいることもあり、遊具の譲り合いやボール遊びや鬼ごっこなどを一緒に行うこともあるのでそちらについては今後も取り組んでいきたいと考えている。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域に開かれた事業は実施していない。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担については契約時に説明を行う他、変更があった場合には面談や日頃の送迎時に説明も実施している。また、支援の内容についても面談時や日頃から送迎時のやりとりの中で方法や成果などを報告している。	はい23 どちらともいえない1	丁寧にわかりやすい説明を行うように努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画作成時に説明させていただくとともに、面談時やモニタリング時にも必要に応じて内容や療育方法についての説明を行っている。	はい22 どちらともいえない1 わからない1	計画を提示しながら丁寧に分かりやすく説明をおこなうように努める。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	具体的な支援方法などを面談時や送迎時のやりとりの中で共有したり、ご家庭内での支援方法についてアドバイスしているが、具体的に事業所としてのペアレントトレーニングは実施していない。	はい10 どちらともいえない4 いいえ4 わからない6	ご家庭内での困りごとを伺いそれを共有し対処方法などを話し合うなど必要であれば、面談を行って支援している。今後もより緊密に情報を共有し、細やかな支援ができるよう努力していきたいと考えている。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートの活用や送迎時の報告などから問題点を早めに見つけたり改善点を共有できるよう工夫している。また、日頃から情報の共有を念頭におきながら細やかな報告、コミュニケーションを心掛け意思疎通をスムーズにするよう努めている。	はい24	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話や連絡ノート、日常でのやりとりから吸い上げた悩みや相談について、電話や連絡ノートで解決をはかるべく助言などの対応をとる他、必要であれば面談を持ち時間をかけて解決できるよう支援している。	はい21 どちらともいえない1 いいえ1 わからない1	相談があった場合には、早急に電話もしくは面談で解決にむけて話し合うとともに、日頃のやり取りからこちらが問題を発見した場合なども想定し、保護者や利用者へ寄り添った対応ができるよう努めていきたいと考えている。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会は組織されていない。年に一度の懇親会で保護者の方の交流を行っている状況であるが今年は新型コロナウイルスの影響で懇親会は中止する。	はい2 どちらともいえない8 いいえ10 わからない4	父母の会等を立ち上げる予定はないが、年に1度の懇親会は新型コロナウイルスが落ち着いた時期に開催を予定している。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情については苦情窓口をわかりやすくお知らせしているとともに、苦情があった場合には迅速に対応し、解決をはかるよう努力している。	はい18 どちらともいえない2 わからない4	迅速にまた、誠実に対応しているご理解いただけるよう今後もいろいろなお意見を伺いながらよりよいサービスを提供できるよう努めていきたいと考えている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者については個人個人の特性を配慮し、口頭だけでなく、視覚支援や音など伝達方法を工夫している。また、保護者との間では連絡ノートを利用し、緊密に連携をとるほか、送迎時でのやりとりやプリントなどでわかりやすく伝達できるよう配慮している。	はい24	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に一度のおたよりの発行をはじめ、必要時に連絡ノートを通じてお知らせをする他、プリントを作成してわかりやすく発信できるよう配慮している。また、連絡体制については携帯電話を活用するとともに、災害時には伝言ダイヤルの活用、SNSも視野にいれるなど緊急時の連絡体制についても協議を続けている。	はい24	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については各書類の管理を徹底するとともに、写真の利用については契約時に保護者の意向を伺いそれを遵守している。	はい20 わからない4	今後もどのように個人情報を扱っているか説明をさせていただき、ご理解を得られるよう努めていきたいと考えている。
非常時等	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを準備し、毎年行われる懇親会の場で説明を行うようにしているが今年は新型コロナウイルスの影響で懇親会を中止したため、おたより等で周知の徹底を行っている。	はい24	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	訓練は年に3回火事、地震、水害を想定したものを実施している。その他、笛を聞いたら集まる、すばやく車に乗り込むなど日常的に災害を意識した行動に結びつく動作訓練を実施している。その他、防災関連の紙芝居・絵本の読み聞かせや、防災センターへ見学、体験も取り入れている。	はい20 わからない4	年3回避難訓練を行っている事を保護者の方へ周知を積極的に行うように努める。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	過去の研修資料やホームページなどを基に事業所内で研修を行う。また、会議などで虐待チェックリストを行い皆で意見交換をするなど日頃から虐待防止について意識を持つよう努めている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
専 対 応	4	<p>やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載</p>	<p>身体拘束については、危険防止の観点から行われることが多いことから、面談で保護者の方へ説明を行い、ご理解いただくようつとめる。また、拘束が必要とみなされる場合、個別支援計画へ記載し対応を明確化する。</p>	
	5	<p>食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応</p>	<p>食物アレルギーのある子どもについては、提供する食材が安全であるか事前に保護者に確認を取ることを原則とし、調理などで使う材料の細目をお知らせして承諾を得てから提供するよう心掛けている。</p>	
	6	<p>ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底</p>	<p>日々の活動の中でのヒヤリハット事例を日報に記して共有する他、重大なものについては報告書を上げ事例を蓄積するようにしている。</p>	